

目次

1面

2024年 年頭にあたって

目前の課題に取り組むことが全体状況と直結する

藤原晃・神奈川・学校労働者

辺野古福岡高裁代執行訴訟

不当判決を断固糾弾する！

編集部

2～3面

労働者通信特集 新しい年 労働と生活の現場から変革の流れを

トラック運転手の職場に30年

社会と職場の「荒み」に対峙する

庄子正紀（全国一般・全労働者組合）

運輸業界の運転者不足

「2024年問題」はすでに始まっている

小熊宏樹（私鉄東武バス・バス運転士）

韓国オプティカルハイテック労組

首都圏で第二次遠征闘争

大畑龍次（韓国オプティカルハイテック労組を支援する会〔準〕）

パレスチナ情勢で三度の声明

平和実現のため態度表明をし続ける

高井一聴（自治体労働者）

日本郵便とヤマト運輸の協業

大幅増員の課題に待ったなし

柏木悠太郎（郵政労働者）

団地での小さな出来事

褒章をめぐる問われた自治会民主主義

田村奈都子（千葉在住）

イラスト通信

声を挙げること。労組が共に闘う事の意義

広浜綾子

4面

新春エッセイ

2024年を主権者の目覚めの年に

安齋育郎（安齋科学・平和事務所所長）

佐賀空港へのオスプレイ配備問題

今こそ工事阻止行動再開の時

豊島耕一（元佐賀大学理工学部教授）

原発事故被災者の声（41）

汚染水の海洋放出差し止めのための裁判

第一次、第二次合わせて306名が提訴
國分富夫（原発事故被害者 相双の会）

5面

沖縄と全国で11・23 平和集会
基地と闘う島々からの報告

大館まゆみ

沖縄の独自外交と地方自治権の擁護
国による代執行を許さない闘いを

阪上みつ子

川柳

笑い茸

6～7面

イスラエルの殺戮糾弾 パレスチナ連帯の声 さらに強くさらに大きく！
イスラエルのジェノサイドを許すな 12・12 集会
われわれは即時停戦を訴える！

大山歩

パレスチナ自治区ガザにおけるイスラエル軍の戦闘停止と日米政府に即時停戦のために
行動することを要求する決議

12・12 労働者・人民緊急集会参加者一同

STOP the War 壁の中の子どもたち展
展示会主催の上條さんがトーク

古賀圭

帝国主義とレジスタンスへの視角
パレスチナと朝鮮の民族解放闘争から

黄貴勲（在日本朝鮮社会科学者協会大阪支部）

大阪駅周辺で二つのパレスチナ連帯集会
足を止め「赤い涙」描く若者も

横道昭子

8面

第41回統一支持全国集会 アピール
朝鮮敵視政策改め平和への道を

朝鮮統一支持運動第41回全国〈沖縄〉集会 参加者一同

第41回朝鮮統一支持運動全国集会を終えて
大きな成果と克服すべき課題

堀川久司（朝鮮の自主的平和統一支持日本委員会代表委員）

500回目の金曜行動に参加

菜海ユウキ（千葉ハッキョの会）

9面

朝鮮半島の情勢をどうみるか（連載・第20回）
かつてなく高まる核の衝突の危機

李俊植（朝鮮大学校教授）

朝鮮戦争停戦・関東大虐殺「ゼロ年」に考える
「分断」「戦争」に抗うための「場」を

李英哲（朝鮮大学校教員）

前照灯

2024年、年の初め

10面

千葉の仲間と朱鞠内フィールドワークに参加
戦中の朝鮮人強制労働の実態に触れる
「笹の墓標展示館」再建活動に協力を

中村美彦

11面

詩

死なねばならないのなら

レファアト - アラリール

訳者解説

杉林佑樹

「キュビズム」の歴史的位置づけ
われわれの芸術の未来について

金山明子（画家）

催物案内

12面

立野正裕著『世界文学の扉をひらく 第四の扉』を読む
民衆の暴力はなぜ生まれるのか

米丸かさね

HOWS2023 年度後期講座

世界の短編小説を読む

頂門一針

「戦争画」再考

ビキニ被爆 70年

第五福竜丸事件を語り継ぐ試み

大橋省三

編集部発

付録 1～2面

パレスチナ解放人民戦線（PFLP）のクリスマス・メッセージ

まもなくパレスチナ人民は勝利を祝い、その土地は世界に光と尊厳を広める中心地に戻るだろう。

ギリシャ共産党中央委員会国際関係部の論説

ガザ地区のパレスチナ人民に対するイスラエルによる攻撃と虐殺に関する現在の思想的・政治的問題への簡潔な回答